

県広報

知事対談

特集 / 第24回県政世論調査

雪美のひろば・スノーアートとやま'94の点灯式で演奏する
シンセサイザー奏者滝沢卓さん。

とやま



2

1994 No.301

40年間の重み

第25回日展日本画科特選受賞
齋藤 清策さん

ひとアスとやま

INTERVIEW

SEISAKU SAITO



▲第25回日展(一九九三)特選「群」

「審査の目を気にせず、自分なりに納得できる作品を心掛けていたのがかえってよかったですよね」
日本最大の総合美術展として知られる日展にこれまで

四十年間日本画の出品を続けている庄川町の齋藤清策さん。昨年の日展では全国から約七〇〇の応募があった中から平成三年に続いて二度目の特選を受賞しました。

「物を寸分たがわず描けるようにスケッチの積み重ねを大事にしてきました。その一つ一つが自分の財産となりますし、自分の個性を伸ばす土台にもなります」
今回の特選作品となった「群」は、さまざまな表情をもった数十羽の鶏を描くことで人間模様を表現。事前に画用紙百ページ以上にわたり鶏の生き生きと躍動する様子を写生してきたという齋藤さんの熱意がこの作品から伝わってきます。

「終戦を迎え戦地から富山に戻った時、どうしても絵の勉強をしたくて教えてくれる人もいないまま始めました」戦争で多くの仲間を目前で失い、平和というものを切に願った青年時代。その思いを何かに残しておきたいという気持ちで齋藤さんを日本画の世界に駆り立てました。その後農業を営む一方で独学ながらも日展に応募を続けたことが審査員の目にとまり京都青甲社を紹介してもらって昭和三十二年に西山翠章氏に師事。技術的な指導はもちろん、いろいろな人の出会いを経て作品に対する発想や考え方をさらに学んでいったそうです。

県内の活動ではこれまで各種日本画教室の講師や県や町の美術団体の会長等を務めるなど多忙な毎日を送ってきた齋藤さん。「この四十年間は自分自身との格闘でした。やる気がなくなったらおしまいですからね。これからも初心を忘れず心の葛藤をうまく絵に表現できるようにしていきたいですね」数多くの作品を手掛ける一方、次の日展に備えて田植への風景をイメージした作品も現在構想中とのことで齋藤さんの創作・普及活動はこれからはますます盛んです。

国民文化祭への夢

富山県芸術文化協会長
深山 榮

F.S.S.A.

ここ十年ほどのあいだに、富山県内に数多くの文化ホールが誕生し、内容の充実に向かって研を競っている。そのルーツをたどると、長く続いた好景気が建設に拍車をかけてきたようであるが、並行して官民ともに文化に対する関心と、自覚の増大があった。

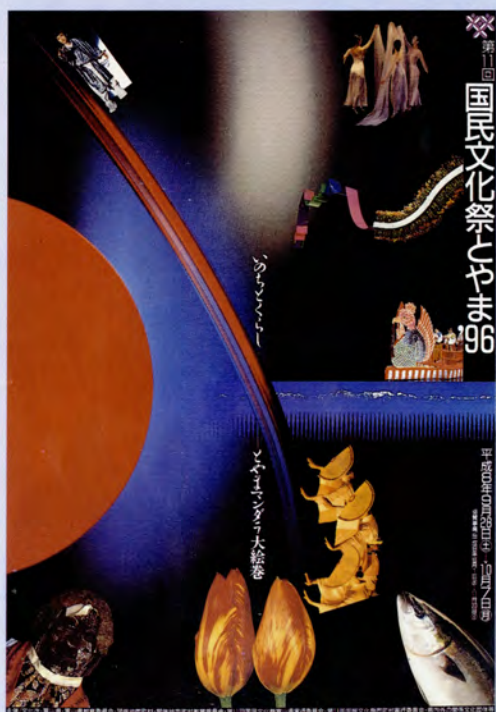
作家や、活動家たちは、これに勢いを得て制作意欲をふくらませ、研究発表の場を得て目ざましく活躍し、刺激された新人たちもまた新しい意欲の芽生えを見せているのが現状である。

文化ホールを預かる側では、折角できた容れ物を埋めるべくプログラムの編成に余念がないが、いままで考えられもしなかった国際的な音楽会が辺地でも聴かれるようになった。それは自動車が大衆化していった過程の然らしめるところでもあるが――。

近年、県下で誕生したホールは、新湊、砺波、入善、高岡、上市、福野、宇奈月、小杉、それに現在建設中の新川などである。老朽を伝えられていた富山市公会堂も、芸術文化ホール(仮称)として平成八年の国民文化祭までには三面半の舞台のある素晴らしいものに新築されるめどがあった。これらに従来からあるホールを加えて、文化を推進する者も、観賞する者も、ますます忙しくなる。

そもそも文部省が、一九六八年(昭和四十三年)文化財保護委員会と文化局を統廃合して文化庁を設立したことが大きな動因となった。この文化庁も、民間人の文化庁長官を迎えたものの、当初は予算も小さく、ほとんど役人が牛耳っていたとの批判はあったが、徐々に改善され、三浦朱門長官のもとに国民文化祭の発想につながっていったと側聞する。

平成八年には前述のとおり第十一回の国民文化祭が富山県で開催される。文化知事の高橋、常に富山県民の代表を以て任ずる中沖会長のもとに、文化プランの策定に動き出したところであるが、各県のいままでの成果をみると、地方行事の集積的文化祭の匂いが強い。



ル級の立山連峰から、マイナス千メートルの富山湾という海洋を擁し、この特性を生かして富山湾上フェスティバルなども計画されている。

幅広い国際文化交流で長年培ってきた経験をここに生かしていくならば、一段と躍動的な開花を見ることは間違いない。そういう努力を傾けていきたいものである。



◀富山県漕艇場



▲富山県総合運動公園陸上競技場

メートルの室内トレーニング走路を設けています。漕艇場もボート王国にふさわしいすぐれた施設になるように努力したつもりです。

帖佐 総合運動公園陸上競技場のすばらしさにはびっくりしました。あの中ではサッカーなどもできますし、また運動公園内にいろいろな施設をつくる計画もあるとお聞きしています。知事の情熱は大変なものだと思いますね。漕艇場についても各国のいろんな施設を見てきた中でも本当にりっぱなものだと思います。今後とも日本だけでなく世界のボート王国になって欲しいと思いますね。

知事 先生からお褒めの言葉をいただき恐縮です。現在景気が良くなって県の財政も非常に厳しい状況なんです。つくる以上は知事も汗も出し、全国のトップになるような良い施設をつくっていかねばならないと思っています。今年の五月には高岡市で県営プールが竣工する予定です。十一月ごろには冬のインターハイに備え七〇メートル級の立山

片山 選手とのコミュニケーションは大切だと思っております。先生はご自分の経験からどのようにしていらしたのでしょうか。

帖佐 大学のときにアルバイトで中学生に陸上を教えたことがあったんです。私も現役でしたので大学のグラウンドに土、日曜日、生徒

知事 おっしゃるとおり指導者ですね。県総合体育センターもいろいろな施設整備を進めておりますが、やはり体の鍛え方、心の持ち方、頭の働かせ方、そういうものを含めた総合的なトレーニングを指導者によって科学的にやるということが大事になると思っております。そのため、学校の教員に良い指導者を確保、養成することが大事であって、教育委員会ではそういう点に配慮して教員の採用や研修などに努力しているわけです。競技団体の監督の方にもご尽力いただいておりますが、特に富山県では、帖佐先生をはじめ全日本的な

富山県のスポーツを語る

【知事対談】



富山県知事 中沖 豊

「日本一の健康・スポーツ県」をめざしている富山県。平成12年に2000年国体を控え、今年はその前哨戦ともいえる全国高等学校総合体育大会・インターハイが7月31日から開催されます。今回は日本陸上競技連盟副会長兼専務理事で富山県スポーツ顧問の帖佐寛章さんをゲストにお招きし、「富山県のスポーツを語る」と題して中沖知事と富山県のスポーツ事情や生涯を通じたスポーツの楽しみ方についてお話しをしていただきました。



ちようさ ひろあき
富山県スポーツ顧問 帖佐寛章氏
ちようさひろあき 昭和5年生まれ。東京教育大学体育学部卒業。昭和31年順天堂大学陸上部監督に就任し、同大学を全日本インターカレッジ16年連続優勝、箱根駅伝8回優勝に導く。メキシコ、ミュンヘン、モントリオールオリンピックのコーチ・監督を務め、現在、日本陸上競技連盟副会長兼専務理事。

シャンツェが完成することになっています。また砺波地域では仮称ですが西部総合体育館といったものをつくっていきたくと考えています。これからも着実に施設の整備を進めていきますので先生、またご指導のほどよろしくお願いします。

選手強化は指導者の育成から

片山 国体の成績を見ますと、残念ながら富山県は今ひとつというのが現状ですが、選手の強化についてはどう取り組んでいけばよろしいでしょうか。

帖佐 私の持論からいっても指導者の資質の向上以外にないだろうと思いますね。それと指導者が情熱を持って選手達の育成にあたることも大事だと思います。医学もそうですがスポーツも日進月歩です。そういう意味では科学的な指導法を追究、研鑽していかないと指導者は伸びないと思いますし、選手も育たないと思います。

片山 インターハイのメイン会場である総合運動公園陸上競技場や漕艇場などの施設がぞくぞくとできていますね。

知事 インターハイでは、夏冬合わせて、県内二十八市町村で二十八競技が行われますが、会場地となる市町村の皆さんはもとより県民総ぐるみの積極的な協力をお願いしたいと思います。

施設については、総合運動公園陸上競技場は三万人収容可能なスタンドで、全国初の九コーストラックや冬場でも練習ができる三百

インターハイに向けた施設整備

- 富山県知事 中沖 豊
- 富山県スポーツ顧問 帖佐寛章
- 司会 片山あさの(富山テレビ)

この対談は1月1日に富山テレビで放映した内容を要約したものです。



足腰が弱ってきますので私は普段から速足で歩くことを励行しています。また、旅行が多

生涯スポーツのすすめ

片山 「生涯スポーツプラン」を基本に「県民一人一スポーツ」など県民総スポーツ運動が展開されていますが、お二人はどのようなスポーツに親しんでおられますか。

知事 以前はジョギングだったのですが、最近はお散歩をしています。足腰を鍛えなければいけないのですから。また、エレベーター、エスカレーターを使わずに階段を歩くことも心掛けています。県庁も週休二日制になって少し余裕できましたのでへたな

片山 「生涯スポーツプラン」を基本に「県民一人一スポーツ」など県民総スポーツ運動が展開されていますが、お二人はどのようなスポーツに親しんでおられますか。



片山 県内の成年層の強化はどうなっているのでしょうか。

知事 県では一昨年、昨年と十チームずつ合せて二十の強化企業チームを指定させてい



成年層のレベルアップを

コーチの方にも指導していただいています。現在、三十七競技について強化コーチにより指導してもらっているという状況ですので、これから子供達がどんどん大きく強く成長していくものと期待しています。

ただいています。「我が会社のスポーツ」ということで大いに力を入れてもらっているわけです。具体的に例をあげますと、バルセロナオリンピックに出場したボートチームとか、日本リーグで活躍しているバドミントンチームとかですが、それぞれの企業には景気の厳しいなかで深いご理解を持って一生懸命取り組んでいただいております。

●強化指定企業名及び指定競技種目名

㈱インテック	漕艇競技(成年男子)
三協アルミ(ラム工業株)	バドミントン競技(成年女子)
塩谷建設㈱	柔道競技(成年女子)
武内プレス工業株	軟式野球競技(成年男子)
トナミ運輸㈱	バドミントン競技(成年男子)
㈱トヤマゴールドウイン	ホッケー競技(成年女子)
㈱不二越	陸上競技(成年女子)
㈱北陸銀行	ソフトテニス競技(成年男子)
北陸電力㈱	卓球競技(成年女子)
吉田工業株	サッカー競技(成年男子)
新日軽㈱北陸製造所	ホッケー競技(成年男子)
㈱タカギセイコー	ソフトテニス競技(成年女子)
㈱竹田工務店	馬術(成年)
立山アルミニウム工業株	ハンドボール競技(成年女子)
日本カーバイド工業株	バレーボール競技(成年男子)
伏木海陸運送㈱	相撲競技(成年男子)
北陸電気工事㈱	弓道競技(成年男子)
宮越工業株	レスリング競技(成年男子)

片山 競技レベルをあげるにはやはり強い選手を集めるのが一つの近道なのではないでしょうか。

帖佐 素質があり、実績のある選手にチームに入ってもらい、その技術を見様見真似することでレベルアップを図っていくわけですね。昨年Jリーグが面白い話題になりましたが、外国の著名な選手と日本人がお互いに切磋琢磨したためにワールドカップを狙えるところまでレベルが上がったんです。そういう意味

いのですが荷物は他人に持たせない(笑)。こういうやり方をしています。家では、ストレッチ、腹筋、背筋などを努めて鍛えるようにしています。今朝もやってきました(笑)。

片山 最近は出生率が低下していますが、スポーツとの関連があるのか伺いたのですが、

帖佐 私は結婚式に呼ばれますと、必ず「子供は三人つくれ」と言います。知事もおっしゃっているそうですね(笑)。子供が少ないとおもうにして親が過保護になりがちで、子供の基礎体力や精神面にひ弱さが出るんです。そういう意味で子供は二人より三人いたほうが良いと言っています。一人か二人の子供さんを将来スポーツだけでなく文化・芸術といった他の世界でどうやっていい大人に育てていくかとなると大変なことです。

知事 県では「生涯スポーツプラン」を策定して、子供から高齢者まで生涯を通じてスポーツに親しんでもらえるような施策を進めているわけです。特に児童、生徒の皆さんには体力日本一になってもらいたい。高齢者の皆さんにもゲートボールや他のスポーツに親しみ、快い汗を出してもらいたいと思いますので、県民総スポーツということをこれからもっともっと進めなければならぬと思っております。

帖佐 知事は新富山県民総合計画の中で施設をいろいろな形で作っていくとしていらっしゃいますね。県民の皆さんが「ちょっとあそこへ行つて一汗かこう」というふうに参加しやすい雰囲気をつくるのが大事だと思います。

では著名な選手に参加いただけてレベルアップするという方法は良いことだと思いますね。ただし国体を考えた場合、勝つために手段を選ばず、一、二年前になって優秀選手を多く入れて得点を残すことになりそうです。純粋培養ではないんですが、他府県からもきていたでいて富山県で定住していただくようにする。そうして天皇杯、皇后杯をとれて本当によかったと心から祝福を受けるようになっていくでしょう。隅っこの方にちよこんといふんですよ。これは可哀想になってね。強くなつてくると応援も中心の方にいくようになるんですよ。私はやはり競技スポーツは勝たなければダメだと思いますが、ただ、中学生に何が何でも勝つというふうには仕向けるとおかしくなるということですね。少年時代は勝つても負けてもいいんです。基礎体力を作りながらスポーツの何たるかを教えて楽しませてあげます。しかし、高等学校の高学年以降になると絶対負けてはいけないという気持ちでやってもらいたいですね。それを小、中学校の生徒さんがちゃんと見て刺激されますからね。そのためにも今年のインターハイでは、県内の高校生に頑張ってもらい、ある程度の成績を残せるよう全力を傾けてもらいそうですね。

帖佐 例えば全国的な大会に生徒を連れていくでしょう。隅っこの方にちよこんといふんですよ。これは可哀想になってね。強くなつてくると応援も中心の方にいくようになるんですよ。私はやはり競技スポーツは勝たなければダメだと思いますが、ただ、中学生に何が何でも勝つというふうには仕向けるとおかしくなるということですね。少年時代は勝つても負けてもいいんです。基礎体力を作りながらスポーツの何たるかを教えて楽しませてあげます。しかし、高等学校の高学年以降になると絶対負けてはいけないという気持ちでやってもらいたいですね。それを小、中学校の生徒さんがちゃんと見て刺激されますからね。そのためにも今年のインターハイでは、県内の高校生に頑張ってもらい、ある程度の成績を残せるよう全力を傾けてもらいそうですね。

片山 知事、最後に今年の抱負をお聞かせ願いますか。

知事 昨年は災害の多い年でしたが、今年はずいぶん良い年になって欲しいと思っています。現代のような激動と混迷の時代には、明確なビジョンを持つこと、それを着実に、確実に実行していくことが大事だと思います。新富山県民総合計画のなかでは「人材立県」「生活立県」「国際立県」という三つの立県の考え方を持っています。今年も県民の皆様方と一緒に果敢と目標に向かって頑張っていきたいと思っています。特に今年のインターハイでは、選手皆さんの活躍はもとより、高校生の皆さんによる「一人一役運動」で一人ひとりが大活躍してくれることを心から願っています。「立山にえがけ大きく君の青春」ですからね。そして今後、現在の小学校の高学年や中、高校生にも頑張ってもらって、平成十二年の二〇〇〇年国体では天皇杯、皇后杯をとれば良いな、と思っています(笑)。今年他にも全国生涯学習フェスティバル、技能五輪全国大会などの大きなイベントがたくさんございますので、富山県の魅力を全国の高中生や全国の方々に知っていただきたいと思っています。県民の皆様のご尽力、ご協力をお願いいたします。

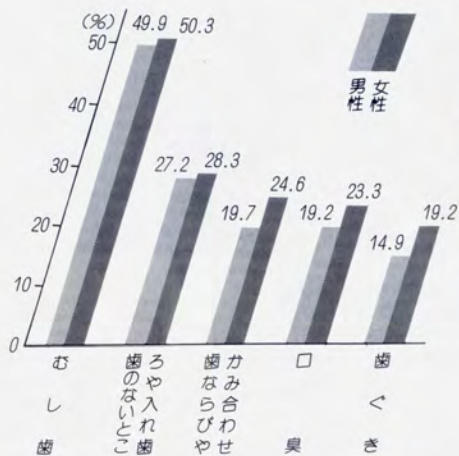
片山 どうもありがとうございました。

歯や口の中で気になることや悩んでいることについては、2人に1人が「むし歯」と答え、悩みなどが「特はない」と答えた人は16.2%と少数でした。

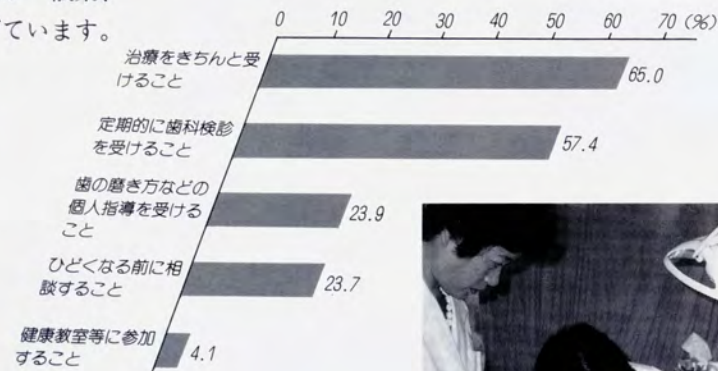
また、半数以上の人々が、歯の健康を守るためには、「治療」や「定期検診」をきちんと受けることが大切だと考えています。

健康づくりのために利用したいと思う屋内施設では、ほぼ5割の人が「水泳や歩行浴等の水中運動を行う温水プール」を、また、屋外施設では7割余の人が「散策、森林浴等が楽しめるコース」をそれぞれあげています。

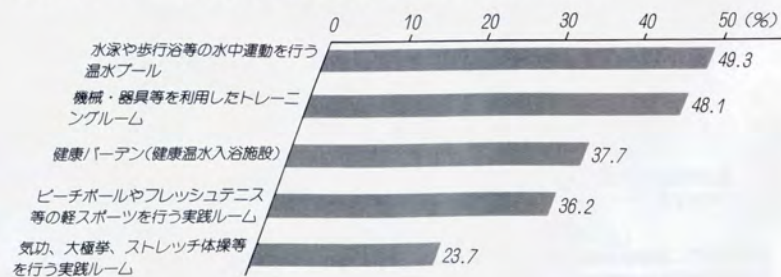
●歯や口の中で気になることや悩んでいること上位5項目



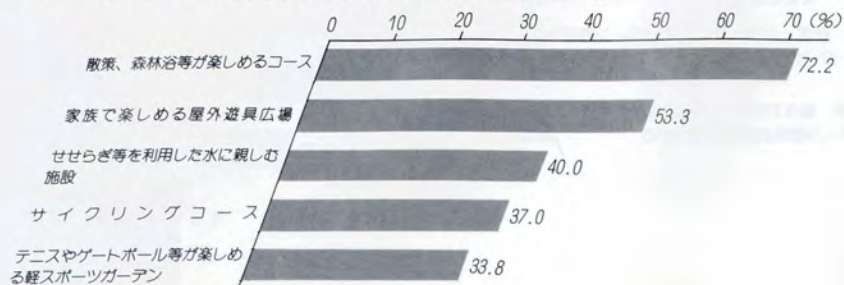
●歯や歯の健康を守っていくために大切なこと上位5項目



●利用したい屋内施設上位5項目（複数回答）



●利用したい屋外施設上位5項目（複数回答）



健康づくり (歯科保健、施設)

県民のみなさんが県政や日常の諸問題にどのような関心や期待を持っているかを把握し、県政推進の基礎資料とするため行う富山県政世論調査。

今回は、県内各地域の成年男女1,200人を対象に次の項目について実施しました。(回収率は75.0%で900人)

その調査項目を抜粋して紹介します。

調査項目

- (1) 国際協力・国際化
- (2) 歯科保健
- (3) 健康づくり施設
- (4) 技能五輪
- (5) 人材確保対策
- (6) 道路・道の駅
- (7) 全国都市緑化とやまフェア
- (8) 全国高校総体・2000年国体
- (9) 国民文化祭
- (10) 交通安全施設
- (11) シートベルト着用
- (12) 施設の利便性
- (13) 施設の整備
- (14) 広報への要望
- (15) 県政への要望

特集

第24回

富山県政世論調査

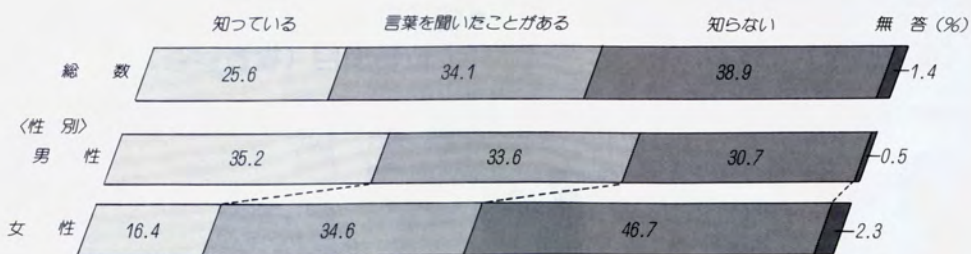


イベント

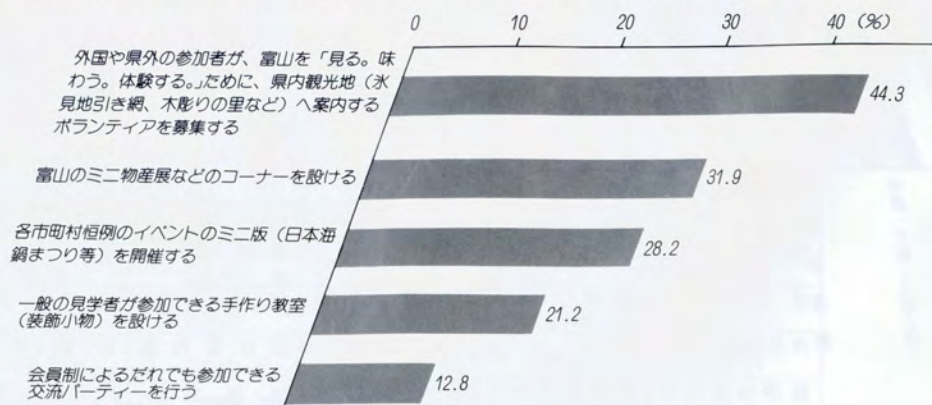
今年富山県で開催される全国高校総体で高校生に学んでほしいこととしては「他県の高校生選手たちとの交流を通じた友情」がトップ。また、今年11月開催の技能五輪全国大会については、ほぼ6割が周知しており、広く県民の参加を得るには「外国や県外の参加者を県内観光地へ案内するボランティアを募集する」ことをあげるのが最も多くなっています。



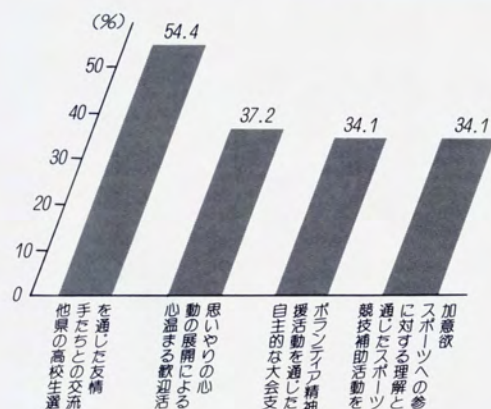
●技能五輪全国大会についての周知状況



●技能五輪全国大会に県民の参加を得る方法上位5項目（複数回答）



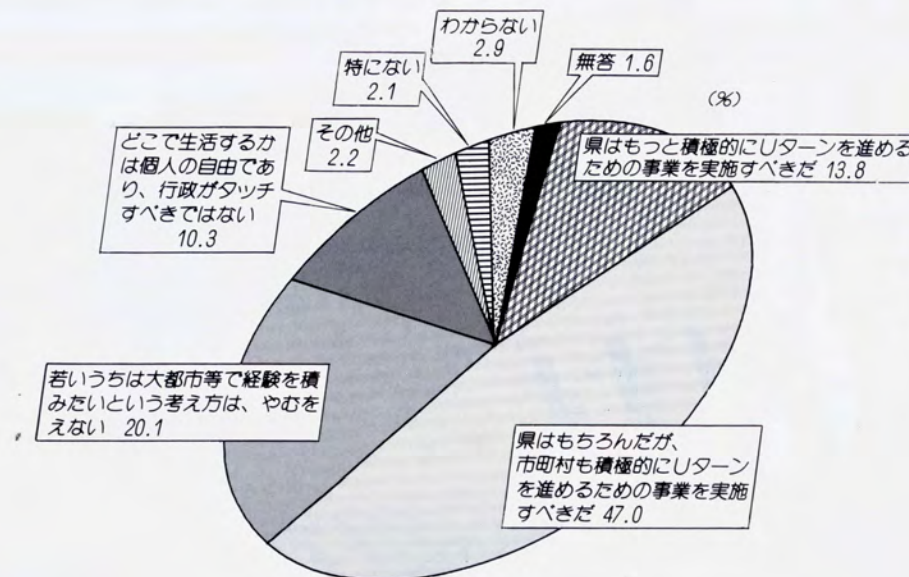
●高校総体で学んでほしいこと上位4項目（複数回答）



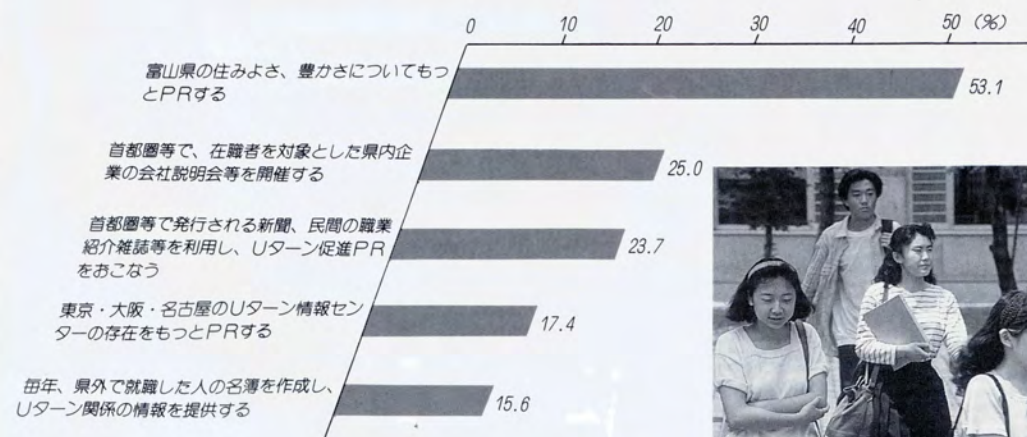
人材確保対策

富山県では、若者の多くが県外の大学へ進学し、そのまま県外で就職するケースが多いと言われています。Uターン促進事業については、6割強の人が積極的に実施すべきだと考えています。そして、2人に1人が今後は「富山県の住みよさ、豊かさについてもっとPRする」ことをあげています。

●県がUターンを進めるための事業を行うことについて



●今後のUターン対策上位5項目（複数回答）



県政への要望

県政について、力を入れて欲しいと望んでいるものについては、前回第2位の「高齢化対策」が36.3%で今回トップを占めました。次いで「社会福祉」34.2%があげられています。これは、長寿社会に向けて様々な対応がとられているものの、本県の高齢化のスピードを考えると、施策のより一層の充実・強化を県民が求めたものといえます。この他、北陸新幹線が前回の8位から5位にランク・アップしています。

年齢別にみると、20歳代では「スポーツ・レクリエーション」が、30歳代では「社会福祉」がトップを占めたのに対して、40歳以上の中高年代では「高齢化対策」を第1位にあげており、年代間の要望に違いがみられます。

●県政への要望上位10項目（複数回答）



●県政への要望上位5項目（年齢別）



年齢別	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
20~29歳	スポーツレクリエーション 34.7	北陸新幹線 29.3	道路整備(高速道路を含む) 26.7	社会福祉 25.3	物価・消費生活 24.7
30~39歳	社会福祉 28.6	下水道の整備 27.9	自然環境の保全/高齢化対策 25.7		北陸新幹線 23.6
40~49歳	高齢化対策 35.6	社会福祉 33.2	物価・消費生活 32.7	道路整備(高速道路を含む) 24.3	下水道の整備
50~59歳	高齢化対策 39.7	社会福祉 36.8	物価・消費生活 31.6	下水道の整備 28.7	北陸新幹線道路整備(高速道路を含む) 24.7
60歳以上	高齢化対策 51.3	社会福祉 42.3	物価・消費生活 38.5	下水道の整備 30.3	医療・保健衛生 21.8

●県政への要望上位5項目（平成元年度～平成5年度）

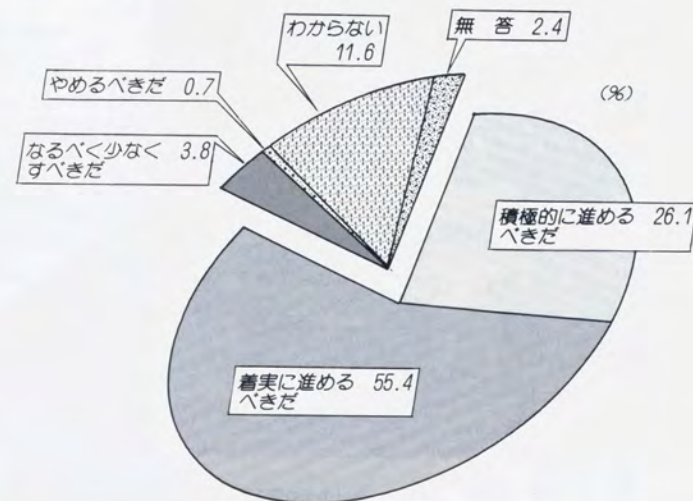
年度	H1	H2	H3	H4	H5
1位	物価・消費生活 (43.9)	高齢化対策 (34.4)	高齢化対策 (34.3)	物価・消費生活 (32.3)	高齢化対策 (36.3)
2位	高齢化対策 (33.1)	物価・消費生活 (32.2)	社会福祉 (31.1)	高齢化対策 (32.1)	社会福祉 (34.2)
3位	社会福祉 (29.7)	総合雪対策 (28.7)	下水道の整備 (30.1)	社会福祉 (27.6)	物価・消費生活 (31.1)
4位	医療・保健衛生 (29.2)	社会福祉 (28.4)	北陸新幹線 (24.5)	下水道の整備 (26.6)	下水道の整備 (25.9)
5位	下水道の整備 (28.7)	下水道の整備 (26.2)	総合雪対策 (24.3)	医療・保健衛生 (22.1)	北陸新幹線 (22.8)

国際協力・国際化

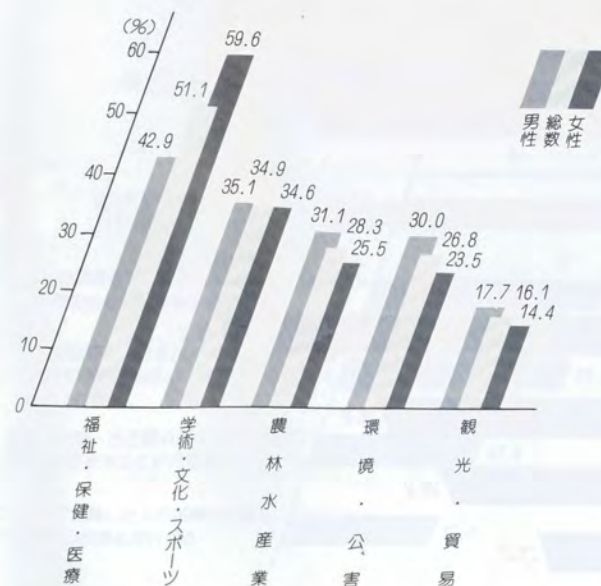
富山県は「世界に開かれ貢献する富山県の創造」をめざし、青年海外協力隊への支援、研修員・留学生の受け入れ、技術交流・共同研究の推進などの国際協力を行っています。このような国際協力を進めるべきと考える人は8割を占め、2人に1人が「富山県の友好提携地域」を中心として行ったらよいと答えています。また、協力すべき分野では、「福祉・保健・医療」、次いで「学術・文化・スポーツ」となっています。



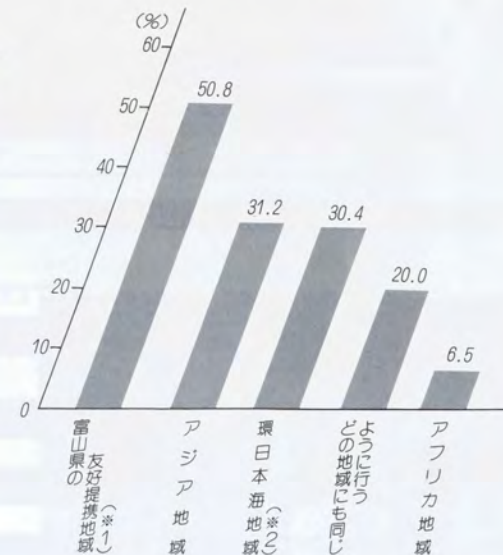
●国際協力に対する意識



●国際協力を行うとよいと思う分野上位5項目（複数回答）



●国際協力を行うとよいと思う地域上位5項目（複数回答）



*1. 中華人民共和国・遼寧省、ブラジル連邦共和国・サンパウロ州、アメリカ合衆国・オレゴン州、ロシア連邦・沿海地方
*2. ロシア連邦、中華人民共和国、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国

冬の海辺で思うこと

吹きすさぶ冷たい海風が

心を閉じ込める

激しい波音に

心はさらわれる

強い心が欲しい

荒波から大切なものを守れるような……

やさしい心が欲しい

やがて広がるあったかな青空のような……

pin up toyama



学び心てくすぐる三つの施設

富山県公文書館&富山県埋蔵文化財センター&富山県立図書館

レポーター.. 寺嶋 史絵 (ミス宇奈月温泉)

膨大な公文書や古文書で 収集・保存

富山県公文書館

雪のちらつく中、まず私が訪れたのは、今年の四月に会館八年目を迎える富山県公文書館。ここには、県政に関する重要な公文書、行政資料のほか、十六万点にも及ぶ歴史資料が整理・保存されていて、誰でも閲覧できるようになっています。

私も古文書の一部を見せてもらいましたが、正直いって書いてあることがさっぱり分かりませんでした。公文書館では、私のように読みたくても読めない人のために、「古文書教室」が年数回開かれています。最近では、若い女性の参加者も目立ってきたというので、私も今度ぜひ受講してみようと思いました。



▲公文書館の企画展「越中の古城」を見学



▲公文書館書庫 (膨大な公文書が保存)

公文書館では、県民カレッジとの連携講座の一環である「歴史講座」も開講されていますが、館長さんによれば、「富山県史を学ぶと、富山がますます好きになりますよ」とのこと。みなさんも県史に触れて富山をもっと好きになってみませんか？

県内の図書館とネットワークで結ぶ 富山県立図書館

富山県は人口百人当たりの公立図書館数が日本一であると同時に、県内すべての市町村に公立図書館がある全国唯一の県だそう。この県内の公立図書館等のネットワークの中心にあるのが富山県立図書館。一日約四百人の人々が利用しているそうです。

県内の各図書館をネットワーク化することによって、図書館相互の貸し借りがとてもスムーズになったとのこと。また、閲覧室

には端末機が設置されていて、来館利用者が自由に本を検索できるようになっています。私もやってみました。著者名や内容からとても簡単に本を検索できることに感心してしまいました。その他、県にゆかりのある方々の著書を一同に集めた「県人文庫」も設置されています。私も近いうちに本を借りるにしようと思ひ、さっそく「館外貸出カード」をつくってもらいました。

▼図書館で「貸出カード」作成中



▲「これ、おもしろそう」

富山県は縄文土器の宝庫 富山県埋蔵文化財センター

文化財というと、つい神社仏閣などを思い浮かべがちですが、富山県埋蔵文化財センターで扱っているのは、埋蔵というだけあって地中に埋もれている土器、石器が中心です。

ここでは、土器などの展示だけでなく、それらの発掘、復元、保存、そして研究を総合的に行っているとのこと。完全に復元される土器は稀で、形にならないかから詰めた箱は、何と四万箱にもなるといふから驚きで

す。ちょうど「富山の縄文土器」という企画展が行われていて、私は職員の方の分かりやすい解説を聞きながら見学させていただきました。

一口に縄文土器といっても、その形や模様は多種多様。これらを見ているだけで縄文時代の人々の知恵や心に触れたような気がしました。企画展はいろいろなテーマのもとで、年間を通じて行われています。みなさんもここで古代の富山を感じてみてはいかがでしょうか。

▼富山の縄文土器



▲土器復元ゲームで頭の体操



ここで紹介した、三つの施設はすべて同じ敷地内にあります。利用者にとっては便利なことこの上ありません。今年を「向学の年」にしたい方は、ぜひ訪れてみてください。

ふるさと みてある記

●滑川市●

■滑川市の概要 人口 31,252人 (12月1日現在、
県人口統計調査より) 面積 54.61km²

春の早朝船上で行われる「ほたるいか観光」は幻想的な光のショー。6月には行田公園の花しょうぶが美しい。レジャーには丘陵地の東福寺野自然公園や、みのわテニスコルが最適。未来の理想的な学校のあり方を考えた「インテリジェントスクール構想」の実現をめざしている。



日本の藤敷物はここだけ

藤敷物作り

「日本で藤ムシロと藤アジロを作っている所はここだけなんですよ」と語るのは、藤敷物メーカーの二代目の松野さん。
藤ムシロは風呂の脱衣所などに、藤アジロは和室に敷く。ともに湿気を吸いとってくれるので、夏に使うと部屋の中はとて涼しくなる。ここでは、昭和の初めから六十年以上も藤敷物を専門に作ってきた。最近では旅館やホテル、ゴルフ場のクラブハウスなどで多く使われているそうだ。

「六人がかりで、一日二畳しか作れないんですよ」まず、東南アジア産の「藤」の曲がりを取り、それを色・太さ・長さ別に選別し、細く割る。ムシロは、一本一本に数十箇所穴を空け麻米でつないでいく。その時、指先で全体が平坦になるように調整していく。アジロの場合は、薄さ〇・五ミリにした数千本の藤を、大きな手織機で対角線に編んでいく。これらの工程がすべて丁寧な手作業で行われているのには驚いた。
「品質には自信があります。上手に使用すれば五十年は大丈夫」厳選された材料と長年培われてきた技術によって品質は最高級である。外国製品と比べると光沢があって、肌触りがとてもよい。こんな藤敷物が敷かれた部屋で快適な夏を過ごしてみたいものだ。



▲2代目の松野豊助さんと息子の伸一さん



▶藤アジロ(右)と藤ムシロ

からだにやさしいリンゴジャム

なめりかん・農村婦人研究会

「滑川のリンゴをPRしたくてジャム作りを考えたいです」と語るのは農村婦人研究会加部の松倉さん。
農家の主婦の皆さんが集まったこのグループでは、滑川でとれるいろいろな農産物の加工品作りに取り組んでいる。手作りのリンゴジャム「なめりかん」をはじめ、歳暮品としてお米・豆おかし・お茶等の詰合せ「加積野精」なども農協を通じて販売している。

「なめりかんは、からだにやさしいジャムなんです」ジャムを作るとき



◀農村婦人研究会のみなさん



▲甘さひかえめのジャム「なめりかん」

神聖で厳肅な雰囲気 創り出す

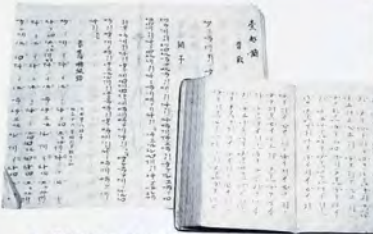
雅楽演奏「鳳明会」

神社の祭礼や宮廷で演奏され、古くから伝わる音楽「雅楽」。その響きは、周囲を神聖な雰囲気包みこむ。春になると滑川市内のいくつかの神社では、雅楽の生演奏が聴ける。
「この会は、明治時代からずっと続いてきたんですよ」と語るのはアマチュアの雅楽演奏グループ「鳳明会」の平井さん。現在のメンバーは九人。毎年八、九回ほど神社の祭礼などで演奏している。

「音を出すよりも楽譜を読めるようになるのに苦労しましたね」楽譜は、穴の押え方などを表すカタカナや記号が縦に並んでいる。平井さんは、楽譜帳を何度も筆写することで各譜号の意味と曲調を覚えていったそうだ。
「現在のメンバーはだいぶ年齢が高くなってきているので、受け継いでくれる若い人を探しているところですよ」
この会の雅楽演奏は、滑川の風物詩の一つ。これからも守り続けていってほしい。



▲鳳明会のみなさん



▲明治期に書かれた楽譜帳

「独特の哀調のある音を出しているのは、『ひちりき』と『笙』です」雅楽ではあまりなじみのない楽器も用いられる。ひちりきは「舌」という藤製の特別な吹き口を付けた縦笛、笙は竹製のハーモニカのような楽器で、ともに吹き込む力がかなり必要だ。

▶力の込められた演奏

まなびピアとやま'94

ポスターデザイン決定

まなびピア'94のポスターデザインが決定しました。富山県内の5つの市町を結んで開催されることやテーマにうたわれている「ひろがる学び」のイメージを形にしたものです。とやまから、新しい生涯学習のメッセージを県花チューリップに託して全国へ発信していきます。

平成6年10月6日(木)～10日(月)

「まなびピアとやま'94」全国生涯学習フェスティバル

「高志のくにからひろがる学び」
第六回

第6回全国生涯学習フェスティバル
開催期間＝平成6年10月6日(木)から10日(月)の5日間
開催地＝富山市・高岡市・新湊市・砺波市・小杉町

開催地のコンセプトと主な事業内容

会場地となる県下5市町では県民の皆さんに楽しんで参加してもらえようそれぞれの地域性を生かしたイベントを展開します。



<p>小杉町 音楽・若者 未来のハーモニーのまち</p> <p>新しい文化ホール「ラポール」を拠点に、町民が企画し、演じる参加する「小杉町芸能祭」・「小杉町合唱祭」や町に関わる民話劇の発表・荘厳な「声明と雅楽」の夕べ・生涯学習まちづくりフォーラムなど。</p>	<p>砺波市 となみ野 花と緑と文化のふるさと</p> <p>となみ野の風俗や文化を次の世代に語り継ぐ「えんなか会」、時代に埋もれた砺波の歴史や民俗を掘り起こす「土蔵友の会」などの活動や美術普及に関するフォーラム、ワークショップなど。</p>	<p>黒部市 名水の里 かおり高い国際文化シティ</p> <p>世界有数の急流河川をテーマにした「黒部川シンポジウム」や名水茶会、「黒部野外彫刻展」などの文化芸術の発表、国際交流に関するフォーラムなど。</p>	<p>高岡市 万葉のロマン 詩情ゆたかな文化のふるさと</p> <p>「万葉集全20巻朗唱の会」や万葉歴史館を拠点とする学習活動、万葉シンポジウム、短歌大会、ラジオウォーク万葉など。</p>	<p>富山市 学ぶ人の輪 明日をひらく教育・文化まち</p> <p>「舞台芸術の街」をめざし、国際シンポジウムやオペラに関する市民創作活動の発表・コンサート、及び「生涯学習都市宣言」市としての「生涯学習を考える市民フォーラム」など。</p>
---	--	--	--	---



全国高校総体を成功させよう⑥
開催まであと180日!
平成6年度全国高等学校総合体育大会

競技会場の紹介

今年、開催される平成6年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)まであと180日となりました。県、会場地市町村、関係機関・団体等では大会の成功に向けて開催準備が急ピッチに進められています。

今回は、高校生の熱戦が繰り広げられる28競技種目の、県下28市町村の競技会場についてお知らせします。

会場地	競技種目	競 技 会 場
富山市	総合開会式	県陸上競技場
	陸上競技	県陸上競技場
	バスケットボール 男	富山市体育館 富山市体育文化センター 富山市東富山体育館 堀川中学校
	テニス	県岩瀬スポーツ公園庭球場
	卓球	県総合体育センター
	体操 体操競技	県総合体育センター
	自転車競技 トラック	富山競輪場
	水泳 水球	富山市民プール
	サッカー	県岩瀬スポーツ公園サッカー・ラグビー場 県常願寺川公園サッカー場 富山南総合公園多目的広場 *高岡スポーツコアサッカー・ラグビー場 県立富山北部高校 富山第一高校
	ソフトテニス 男女	*高岡スポーツコアテニスコート
高岡市	バドミントン	高岡市民体育館 県立高岡高校 県立高岡工芸高校 県立高岡女子高校 県立高岡商業高校 高岡第一高校
	ボクシング	県産業創造センター
	水泳 競泳・飛込	*県営高岡プール
	自転車競技 ロード	氷見・高岡間周回コース
氷見市	ハンドボール	県立氷見高校 氷見市総合体育館 県立有磯高校 氷見市立北部中学校
	体操 新体操	新湊市総合体育館
新湊市	ヨット	新湊漁港(東地区)
	レスリング	滑川市総合体育センター
滑川市	ウエイトリフティング	滑川市総合体育センター
	バレーボール 男	吉田工業団地体育館 宮野運動公園体育館
黒部市	バレーボール 女	魚津市総合体育館 県立魚津高校 魚津市立東部中学校
	バレーボール 女	入善町総合体育館 県立入善高校 NEC富山スポーツプラザ *朝日町総合文化体育センター 朝日町民総合体育館
大沢野町	漕 艇	県漕艇場
上市町	空手道	上市町総合体育館
宇奈月町	アーチェリー	中ノ口緑地公園運動広場
立山町	登山	立山・大日山系
八尾町	ソフトボール 男	県立雄山高校 県常願寺川公園野球広場
八尾町	ソフトボール 女	*婦中スポーツプラザ 県立富山西高校 県立八尾高校
婦中町	フェンシング	婦中町民体育館
大門町	相撲	*大門町緑地公園相撲場
小杉町	柔道 男女	小杉町総合体育センター
大島町	弓道	大島町弓道場
小矢部市	ホッケー	*小矢部ホッケー場 小矢部陸上競技場 県立石動高校
小福岡町	ホッケー	県立福岡高校
砺波市	バスケットボール 女	砺波市体育館 出町中学校
城端町		城端中学校
井波町		井波中学校
福野町		福野町民体育館
福光町	福光中学校	
庄川町	剣道	庄川町民体育センター
大山町	スキー	立山山麓スキー場

*新設予定

「高齢者バス教室」

生きがいづくりにお役立てください。

県では、お年寄りの社会参加を促し、生きがいづくりになることを目的として、市町村で実施する「高齢者バス教室」事業を支援しています。

「高齢者バス教室」は、実習、見学などに重点をおいているため、お年寄りの方がふるさと富山を再発見する絶好の機会になると思います。

(詳しくは、市町村の高齢福祉担当窓口にお問い合わせください。)



ひとり親家庭等 電話相談のご案内

母子家庭や父子家庭などのひとり親家庭等を対象とした休日電話相談を行っています。

子供の教育など日常生活で悩みをお持ちの方や各種の福祉施策についてお尋ねになりたい方は、気軽にお電話ください。(秘密は厳守します。また、匿名でも相談に応じます。)

電話受付時間

祝祭日を除く毎土曜日・日曜日の午前10時から午後4時まで。

開設場所

(財)富山県母子寡婦福祉連合会
ひとり親家庭等休日電話相談の係
☎0764・32・4298

問合わせ先 児童家庭課 母子福祉係 0764・44・3209

凍結・積雪時の安全運転 冬道は危険がいっぱい!

○積雪・凍結でスリップしやすい

○交差点角等に積まれた雪のために見とれしが悪い

○積雪で道幅が狭くなる

○歩行者も車道を通行していることがある



スリップ事故の多くは、スピードの出し過ぎです。スピードは控えめに、カーブや右左折する際は、十分にスピードを落としましょう。急ブレーキ、急ハンドル、急発進、急加速など、急のつく運転は絶対に禁物です。

また、冬道でもっとも多いのは、追突事故です。前の車の動きをよく見て、十分な車間距離をとりましょう。ブレーキをかける際もペダルを半分ほどで踏みとどめるソフトブレーキが安心です。自分の運転技術を過信せず、「1・2・3運動」(1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出発)に心掛けて安全運転に努めましょう。

水質汚濁防止法に基づく 排水規制項目の追加 について

近年の化学物質の生産、使用の拡大に伴い、工場排水の規制対象となる有害物質として、ジクロロメタンなど、有機塩素系物質、農薬、重金属の13項目が追加されました。

排水基準は、新設工場については平成6年2月1日、既設工場については原則として8月1日に適用され、一部の業種については、3年間は、暫定基準が適用されることになっています。

詳細については、県公害対策課(☎0764-44-3146)に問合せ下さい。

信頼と平和を築く シマ 四島返還

北方領土の日
2月7日



確定申告は お早めに!

申告期限間近になると税務署の窓口が混み合い、長時間待たされたり、落ち着いて相談ができなかったりします。確定申告は早めに済ませましょう。



★所得税、贈与税、住民税、個人事業税の申告期限は「3月15日」です。

所得税、贈与税の確定申告をしなければならない人は、①事業を営んでいる人、不動産を売った人などで、これらの所得が基礎控除などの所得控除の合計額を超える人
②サラリーマンで、給与の年収が1,500万円を超える人、又は、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が20万円を超える人
③個人から贈与を受けた財産の合計額が60万円を超える人などです。
住民税、個人事業税については、所得税の確定申告書を税務署へ提出されれば、市町村、県への申告は不要となります。

★消費税(個人事業者)の申告期限は「3月31日」です。

申告しなければならない人は、個人で事業を営んでいる人で、前々年の課税売上高が、3,000万円を超える人、課税事業者の選択をしている人です。
なお、手続その他くわしいことは、最寄りの税務署まで、ご相談ください。
富山税務署 ☎0764・32・4191 高岡税務署 ☎0766・21・25001
魚津税務署 ☎0765・24・1370 砺波税務署 ☎0763・33・1073

12月11日 第23回富山県花き品評会(～12日)



自然環境保全講演会
マリンジャンボJr.就航記念式典

12月13日



12月17日 富山県老人保健福祉計画策定にかかる県民懇談会(西部ブロック)

12月19日 第45回愛の年末児童大会
立山山麓スキー場オープニングフェスティバル

12月20日 ふくろう部隊出動式
12月21日 流杉老人ホーム創立30周年記念祭
12月24日 快適なトイレシンポジウム



12月25日 済生会高岡病院竣工式
12月28日 主任児童委員委嘱状交付式
1月10日 21世紀を展望した富山県行政改革懇談会

富・山・県・情・報・工・房

マルチメディア入門 研修会

受講生募集

美しい画面に音声や音楽が流れる。こんなアニメをパソコンで作ってみませんか。

富山県情報工房では、マルチメディア入門研修会の受講生を募集しています。募集人数は各回10名です。開催日は3月9日、16日、23日で各日とも同一内容です。ご希望の日をお選びください。詳しくは富山県情報工房、電話0764-44-7887番まで問い合せください。

平成6年 3月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
1	火	福光町役場前	10:00～15:30
4	金	井波町役場前	12:30～15:30
6	日	小杉町「バスコ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
12	土	砺波市「となみプラザ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
19	土	富山西武デパート前	10:00～16:00
20	日	富山西武デパート前	10:00～16:00
21	月	氷見市「ハッピータウン氷見」ショッピングセンター前	10:00～15:30
22	火	小杉町役場前	12:30～15:30
24	木	城端町役場前	12:30～15:30
26	土	魚津市「サンプラザ」ショッピングセンター前	10:00～15:30

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認下さい。

◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

視座

とやまの作家たち展

景

ありさま

富山県民会館美術館

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真…。多岐にわたる今日の美術の根底に共通するものは何でしょうか?

この展覧会では、この問いから発想される一つのテーマを、ジャンルを超えた「とやまの作家たち」に投げかけます。それは逆に、それぞれの作家独自の「視座」の在り方を浮かびあがらす狙いです。

今回のテーマ「景—ありさま」は、「五感を通じて外界から入ってくるものと、主体である人間との係わりから生まれてくるもの」と解されます。前期・後期の2部に分け、20人以上の作家の視座を紹介する予定です。

●日 時：前期 3/4(ゆ)13(日)
後期 3/18(ゆ)27(日)
●観覧料：一般2000円
生徒児童1000円

詳しくは
県民会館 ☎0764(32)3111まで

富山県立近代美術館「山口長男展」



作品名「構成(赤)」1955年

富山県立近代美術館では、2月11日(祝)～3月21日(祝)まで、「山口長男展」を開催します。この展覧会は、日本の前衛絵画のパイオニア的存在、山口長男の回顧展です。山口長男は、明治35年京城(現ソウル)に生まれました。東京美術学校を卒業後渡仏し、帰国後は二科会九室会の結成に参加、戦後から晩年にかけて、黒、黄土色、または赤茶色の色面で構成する独自の様式を展開しました。その作品からは大陸の風土の中で培われた山口独自の自然観が見られ、大地あるいは宇宙の悠々たる営みを感じさせます。

今回の展覧会は、初期から晩年に至る作品によって、その芸術の本質に迫り、今日的な意義を探ろうとするものです。油彩約80点と水彩、素描、絵付陶器など、あわせて約110点を展示します。

●観覧料／一般850(650)、高・大学生600(450)、小・中学生350(300)
()内は20人以上の団体料金です。

詳しくは、近代美術館☎(0764)21・7111まで

「チューリップ王国とやま」をPR

ジャパンフラワーフェスティバル東京



花の役割の重要性と日常生活における花の一層の普及定着、さらには花産業の活性化を図るため、ジャパンフラワーフェスティバル東京'94が開催されます。今回のテーマフラワーは、本県の県花でもある「チューリップ」。

本県では、今回、花の持つ夢あふれるイメージを主体に、県育成新品種の紹介を兼ね「チューリップ王国とやま」をPRする予定です。

本フェスティバルでは、全国の道府県や関連団体からの花の展覧の他、各種イベントやパザールが行われます。

期間 平成6年2月25日(金)～28日(月)
場所 東京晴海東京国際見本市会場C館
問い合わせ 県庁農産園芸課
☎0764・44・3284

表紙	撮影/滝川邦彦(日本写真家協会)
表2	エッセイ/深山 榮
P1	ひとアズ/斎藤 清策
P2	知事対談
P6	特集/第24回県政世論調査
P12	PIN UP TOYAMA
P14	撮影/松田 勉
P16	とやま遊学感/公文書館&県立図書館&埋蔵文化財センター
P18	ふるさとみてある記/滑川市
P19	高校総体を成功させよう⑥
P20	まなびピアとやま'94の概要③



雪の美しさを楽しむために県庁前公園で実施しているスノーアートとやま。五年目を迎えた今回は鳥や恐竜、雪のシンボルなどの造形物が登場して見る人の目を楽ませています。一月十七日にはシンセサイザー奏者の滝沢卓さんが晴れた日の雪の輝きをイメージした曲を披露してオープニングを飾りました。「雪像づくり」や「イルミネーション」とはまた一味違った現代の雪美のひろばにぜひお立ち寄りください。期間は二月末まで。

みなさんの相談窓口

交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400

相談110番
家庭問題・悪質商法・寛せい刑など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110

シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

テレビ広報	ラジオ広報	新聞広報
<ul style="list-style-type: none"> ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」 ●北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」 <p>2/6 特産品開発を応援します 2/13 文化施設に親しむ 2/20 私たちのふるさとづくり⑩ 2/27 生涯スポーツのすすめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 <p>県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月~金曜日 AM9:50~9:55</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 <p>毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」</p>

集記 編後

人はだれでも座右の銘、または心に残る言葉に出会う機会があります。それは本、テレビ等の媒体からであったり、恩師や上司の言葉からであったり。たった一つの金言が自分の生き方に影響を与え、苦境にたつた時に勇気を起こさせてくれます。最近映画で寅さんが言った名セリフ「男はナ、あきらめが大事だよ」。バレンタインデー用にとっておきたいと思います。(K)

元 来、私は読書嫌いなのだが、少しでも頭の体操になればと思い、最近近はなるべく本に目を通すようにしてきた。しかし、「為になるなあ」と思った事柄でも三日もしないうちに忘れてしまう。これでは「為にならない」ただの時間の無駄。取材で聞いた話はよく覚えているので、耳から入る話は簡単に消えていかないのかもしれない。今度それをカセットブックで試してみたいと思っている。(A)

富 山の冬を初めて体験した私。「富山は雪が少くない」と言えば、富山県人は「56年、59年はすごかった」と言う。別に対抗するわけじゃないが、「青森の地吹雪は他では体験できない」と言い返す。雪国には様々な顔があり、それぞれの想いがある。それが雪国の特権と思えるのは、ここ数年の暖冬・少雪のせいだろうか。それにしてもらった大雪には驚いた。(O)



魚の天気図②③

今話題の魚

寒鯖讃歌

うまい・やすい・はやい

「秋鯖嫁に食わずな」……姑がいじわるする程、秋の鯖はうまい——これは関東でのごと、北陸では冬の「寒鯖」がうまい。鯖の適水温は、十〜二十二度と広いが、十五・六度が最適のようである。この水温帯を、イワシや小アジを追って回遊する。富山湾内では、対馬暖流にのって北上する小型の「梅雨鯖」、南下し十月頃から湾内に入る「秋鯖」、湾内で越冬する「寒鯖」がいる。産卵は春で、夏は産後の疲れで脂がのらない。秋から冬は、猛烈に餌を食い、はち切れそうになる。高脂肪・高蛋白でビタミンも多い。鯖は、味噌とよく合い味噌煮がうまい。少量の酒・砂糖・醤油と必ず薄切りのしょうがを加えること。

鯖は、生で食べることはほとんどない。刺身にする時は酢でしめる。しめさばを食べる時は、昆布を取りはずして青じそかおろしわさびを添える。

死ぬのも早い、いたみも早い。色は変わらないのに、すぐやわらかくなる。酵素の作用で「自家消化」がおこり、細菌が付きやすくなるのである。腹痛をおこしたり、ジンマシンになると鯖を嫌う人がいる。たしかに傷み易い。悪しのはやい魚であるが、新鮮な寒鯖ではその恐れはない。

「サバを読む」……数をいい加減に言うときに使われるが、サバは鯖のこと？語源には魚商が「ひとよ・ふたよ・みつちよ・よつちよ」と、早口に言って数をごまかし、腐りやすいサバを、大ざっぱな計算で売りさばっていたということが一説としてあげられる。

古語の「外へは歳をかくし節分の豆もさばを読み」は年を若く見せたい心理か。佛教語の「衆生の飯米」即ち「生飯」をさばと読み、寿司屋の数覚えの米粒も同様生飯と言う。

「青い魚」は概して生臭い。鯖はその代表格である。皮下脂肪の臭みを、熱湯をかけたたり、塩、酢、味噌や昆布で取り除き、しょうが、しそ、わさび等の香辛料を添えたりする。

「鯖の生き腐れ」……日本で「サバ釣り」の名所は能登と丹後である。釣られた鯖は

とこで、サバ科の魚は日本海で十四種獲れる。サワラ・カツオ・マグロもサバ(狭歯)科で、狭腹・堅魚・眼黒の意である。富山では、一般に鯖を「サワ」という。ヒラサワ(マサバ)とマルサワ(ゴマサバ)の二種いるが、寒鯖はヒラサワである。



＜マサバ＞



＜ゴマサバ＞

伝統の技術と駆使し、
創作芸術の分野へ道を開く
井波彫刻

上品で格調高い風合が
美しく調和する
庄川木工



素朴な味わいと
あなたならではの
五箇山・八尾の和紙



独特な作風と人々の暮らしを
織り込んだ
高岡銅器・漆器

独特の味わいと 醸し出す 地場産品

富山の地域経済の担い手として大きな役割を果たしている銅器・漆器・木彫刻等の各種地場産品は長い歴史の中で培われ、生活に密着しながら成長してきました。伝統の技術・技法に支えられた富山の地場産品はそれぞれ独特の味わいを持ったものばかり。これからも愛用していきたいものですね。